

第59回 愛育班等組織育成者研修会 開催報告

コロナ禍の為中断していた愛育班等育成者研修会を、埼玉県、山梨県、大分県から6名の研修生が参加して11月21・22日の2日間で開催しました。

1日目

山梨県愛育連合会の企画で、南アルプス市（旧源村）の源母子愛育会館を訪ね愛育会の歴史に触れ、矢崎きみよ氏の「愛育の心」に込められた思いや、山梨県の愛育班活動の原点を再認識しました。

その後、山梨県庁で「令和4年度山梨県母子保健地域組織育成者研修会」に参加した山梨県内の育成者の皆さんと共に、市町村保健師の立場、保健所保健師の立場、県愛育連合会を支援する県庁の立場から、育成者に求められる役割について発表・意見交換を行いました。

2日目

恩賜財団母子愛育会の研修室で、参加者同士、意見交換を交えながら、地区組織活動を地域の中で活性化していくために、自分たちが何ができるかを考える時間を持ちました。



愛育班等育成者研修会「源母子愛育会館」前にて

受講者の声・・・深い学びと、沢山の気づきが得られました！！

- 山梨県の保健師さん、会長さんとの意見交換の時間が貴重だった。気持ちの共有ができた。
- 愛育の歴史や活動のきっかけを学び、地区にとって愛育班がどれだけ地域の健康づくりに寄与しているのかを知った。「地域にとって無くてはならない存在」と伝え敬意の念をもってコミュニケーションを図っていきたい。
- 班員さんや会長と直接声を聞いて、共に課題を捉えて考えていきたい。やらされるのではなく主体性をもって活動ができるとういと思う。